

東プ°レ株式会社

～未来を変えるモノづくり～

東証第一部【証券コード 5975】

2019年2月16日



JPX-NIKKEI 400

代表取締役常務

松岡 邦和

本日のご説明内容

1. 会社概要と製品紹介
2. 現状と将来への取組み
3. 第14次中期経営計画
4. 業績推移と予想
5. 株主還元

社名	東プレ株式会社
設立年月日	1935年4月30日
資本金	56億1千万円(2018年3月末日現在)
株式	東京証券取引所 市場第一部上場
本社	東京都中央区日本橋3-12-2(朝日ビル)
代表者	取締役社長 内ヶ崎 真一郎
従業員数	単体1,452名/連結3,856名 (2018年3月末日現在)
連結売上	1,911億円 (2018年3月期)
営業利益	237億円 (2018年3月期)



1930

1935年 (昭和10年)

- ・東京プレス工業(株)設立
(東京都江東区大島町)

1960

1962年 (昭和37年)

- ・東京証券取引所
市場第二部に上場

1964年 (昭和39年)

- ・広島工場新設

1968年 (昭和43年)

- ・冷凍・冷蔵車業界へ進出



1970

1970年 (昭和45年)

- ・空調業界へ進出

1971年 (昭和46年)

- ・栃木工場新設

1974年 (昭和49年)

- ・東京証券取引所
市場第一部へと指定替え

1979年 (昭和54年)

- ・空調機器工場新設

1980

1983年 (昭和58年)

- ・電子機器業界へ進出

1985年 (昭和60年)

- ・東プレ株式会社に
商号変更

1990

2001年 (平成13年)

- ・東プレ九州(株)設立

2004年 (平成16年)

- ・アメリカ・アラバマ州に
自動車機器工場新設
(Topre America Corporation)



2000

2010年 (平成22年)

- ・東普雷 (佛山) 汽車部件有限公司設立
- ・タイに自動車部品販売会社設立
(TOPRE(THAILAND)CO.,LTD.)

2012年 (平成24年)

- ・東普雷 (襄陽) 汽車部件有限公司設立
- ・メキシコ・ケレタロ州に自動車機器
工場新設 (Topre Autoparts Mexico.S.A.de C.V.)

2014年 (平成26年)

- ・鈴鹿工場新設
(現: 東プレ東海(株)鈴鹿工場)

2015年 (平成27年)

- ・インドネシアに冷凍・冷蔵車
工場新設
(PT.TOPRE REFRIGERATOR INDONESIA)
- ・東プレ九州 技術センター新設
- ・タイに自動車機器工場新設



2020

2016年 (平成28年)

- ・東プレ東海(株)設立

2017年 (平成29年)

- ・(株)丸順と資本業務提携

2019年 (平成31年)

- ・東プレ九州
苅田工場新設





東プレ東海



四日市工場



鈴鹿工場



栃木事業所



岐阜事業所



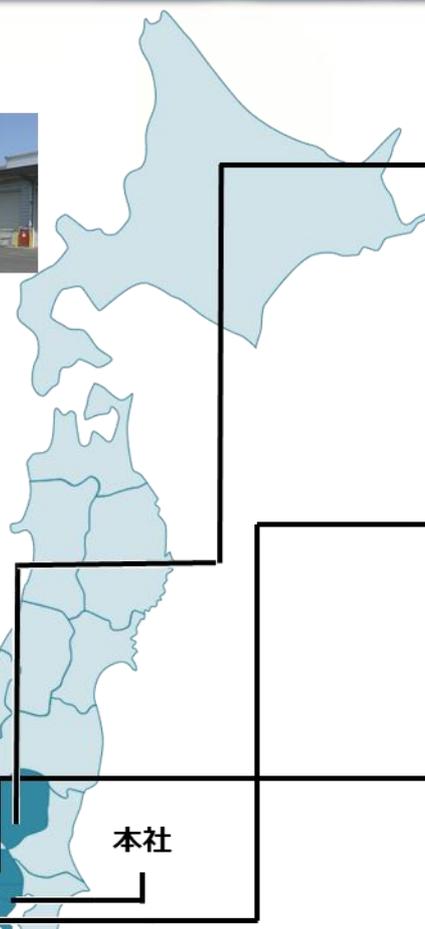
相模原事業所



広島事業所



埼玉工場



本社



東プレ九州 刈田工場



東プレ九州 久留米工場



技術センター

- | | | | |
|--|-----------|--|--------|
| | (プレス関連製品) | | (空調機器) |
| | (定温物流関連) | | (電子機器) |

■ (プレス関連製品) ■ (定温物流関連)

東普雷 (襄陽) 汽車部件有限公司



東普雷 (佛山) 汽車部件有限公司



Topre America Corporation
(テネシー州)



Topre America Corporation
(オハイオ州)



TOPRE (THAILAND) CO., LTD.



Topre America Corporation
(アラバマ州)

稼働
準備中



Topre India Private Limited

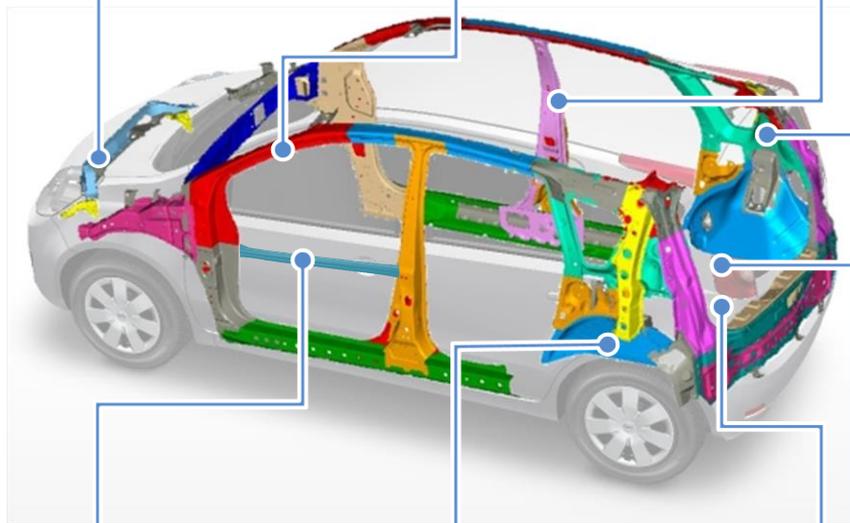
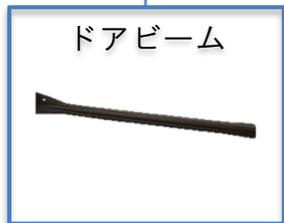


PT. TOPRE REFRIGERATOR
INDONESIA



Topre Autoparts Mexico,
S.A. de C.V.

世界最強クラスの高張力鋼板で製造 (ハイテン材)



生産拠点

- 相模原事業所
- 東プレ九州
- 東プレ東海
- 東プレアメリカ
- 東普雷(佛山)
- 東普雷(襄陽)
- 東プレメキシコ
- 東プレタイ

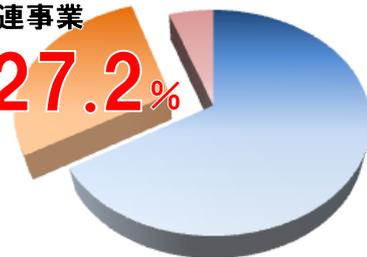


国内初、冷凍装置とコンテナの一貫生産



定温物流関連事業

売上比率 **27.2%**



生産拠点

- 栃木事業所
- 広島事業所
- 東プレインドネシア

販売会社

- トプレック

Toprec



低温仕様から中温、加温仕様まで、各種荷物に対応した最適温度で、コンビニ配送をはじめ、様々な定温流通の場面で活用されています。



低温(-15℃~30℃) 中温(-5℃~+5℃) 加温(+18℃~+20℃)

サービスセンター 4拠点
営業所 22拠点

その他の事業(空調機器)

独創技術の進化でより広範囲な空調システムへ

産業用

■ オフィスビル



■ 病院(クリーンルーム)



VAV(可変風量装置)
空調システム「パブコン」



産業用送風機



ファンフィルターユニット



デシカント外気処理機



ヒュームクリーン

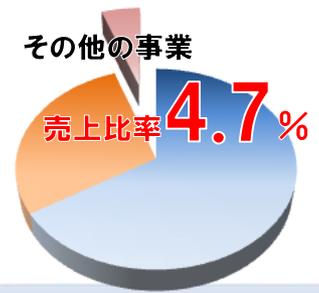
民生用



■ 住宅用換気システム



全熱交換型フロアセントラル
換気システム



生産拠点

■ 岐阜事業所

静電容量技術をコアに多彩な電子機器を展開

キーボード「REALFORCE」

静電容量無接点方式を採用しているREALFORCEシリーズのキーボードは、操作性、耐久性、入力性能などの面で、お客様よりご好評を頂いております。



組込型タッチパネル付 LCD



組込型PC



組込型タッチモニタ

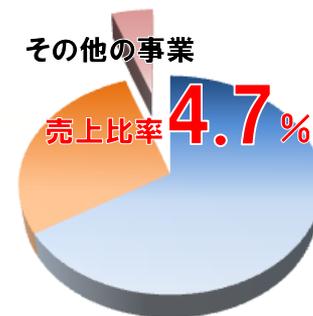
- 静電容量／抵抗膜／光学式の3種類
- 液晶サイズは5.7インチから19インチまで
- 用途実績 … 産業用機械、券売機、カーナビ など

生産拠点

■ 相模原事業所

その他の事業

売上比率 **4.7%**



1. **会社概要と製品紹介**
2. **現状と将来への取組み**
3. **第14次中期経営計画**
4. **業績推移と予想**
5. **株主還元**

自動車
国内

雇用環境の改善が続いており、
国内経済の緩やかな回復が期待される。
ただし、海外経済の不確実性に留意する必要がある。

自動車
海外

米国の自動車市場は先行き不透明感があるものの、
メキシコ、タイでは自動車販売の需要が好調。
中国では個人消費に警戒感が芽生えつつあるが、生産は維持。

冷凍車

2017年9月に強化された排ガス規制による、中・大型車の
駆け込み特需は終了。軽自動車・小型車が好調を維持。
宅配業者向けトラック市場が好調を維持。

プレス関連製品事業

- **資本業務提携契約を締結した、株式会社丸順との生産、技術、購買など、各分野での相乗効果を見込んでいる**
- **東プレ九州では、生産能力増強を目的として、福岡県苅田地区に2拠点目となる生産工場が稼働開始**
- **東プレアメリカでは、第6・7次追加設備投資計画を実行中**
- **東プレメキシコでは、受注・生産が引き続き好調に推移**
 - ✓ **ホットスタンプ投資 進行中**
- **東プレタイでは、新車種向けの部品生産が好調**
 - ✓ **輸出拡大による景気回復により、個人消費は緩やかに拡大している**

定温物流関連事業

●トブレック、ヤマト運輸とともに、2019年の実用化を目指し、 新型航空保冷コンテナを研究開発中

- ✓ 国土交通省の重点研究テーマである、「我が国の輸出力強化に資する物流分野の技術開発」に対し、ヤマト運輸株式会社と共同提案した開発プランが採用される

●日本初「EV配送車」登場

- ✓ 大手コンビニエンスストアの配送車に東プレ製の電気式冷蔵庫を搭載した、EV配送車が導入される

●蓄冷板式保冷車が導入

- ✓ ヤマト運輸株式会社「クール宅急便」の新型集配車両



コンテナ内に蓄冷材を搭載することで
車両前方の冷凍コンプレッサーが不要に。

その他の事業

●キーボード「REALFORCE」シリーズが好調

- ✓ 2018年12月より新製品「REALFORCE RGB TKL」発売

九州・苅田地区 新工場 本年1月～稼働開始

目的

自動車用プレス部品の生産能力・生産効率の向上
ホットスタンプ部品生産設備の導入

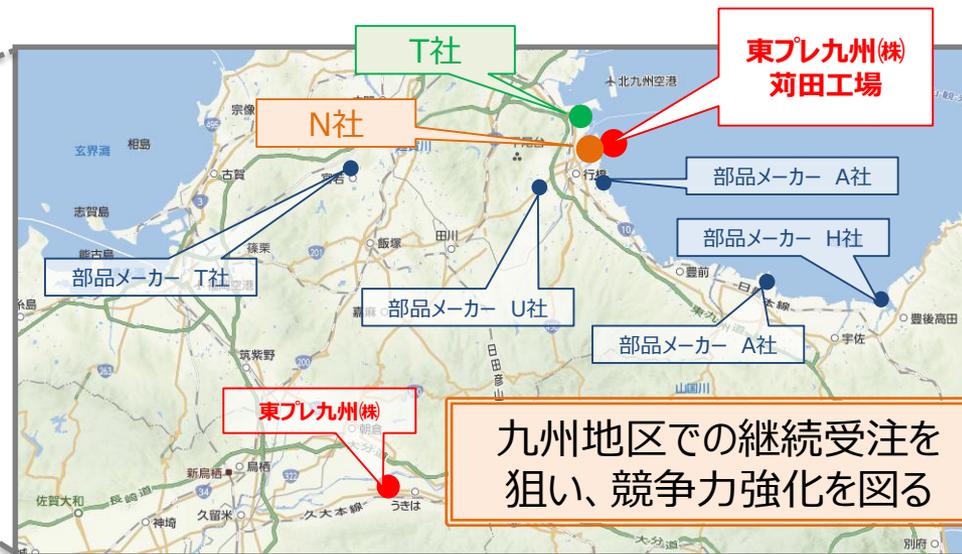


国内2拠点目となる
ホットスタンプラインが
九州地区にできます

東プレ九州(株)
苅田工場



東プレ九州(株)

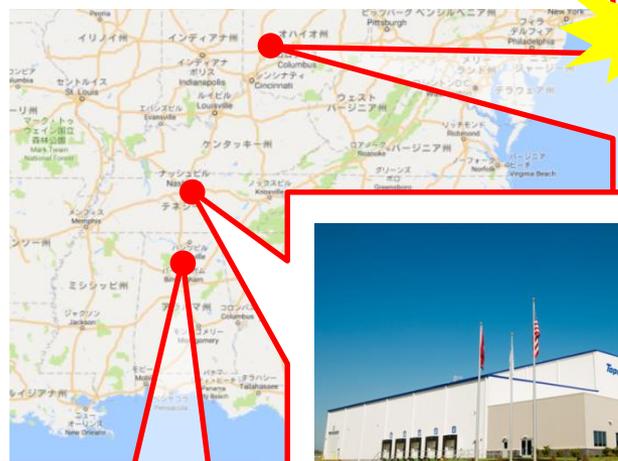


九州地区での継続受注を
狙い、競争力強化を図る

海外拠点状況(北米／アメリカ①)

2018年2月 第7次設備投資決定

北米地区におけるさらなる自動車需要増加を見込み、
アメリカおよびメキシコの既存工場すべての生産設備の増強を決定



NEW

オハイオ州 新工場



テネシー州 新工場
2017年10月より稼働開始

東プレアメリカ
(アラバマ州)

【追加設備投資の流れ】

2004年6月：Topre America Corporation 設立
(アラバマ州)

2006年4月：第2次設備投資 決定

2007年8月：第3次設備投資 決定

2011年7月：第4次設備投資 決定

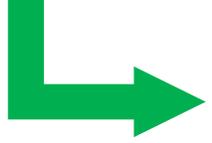
2015年2月：第5次設備投資 決定 (テネシー州における新工場設立)

2017年2月：第6次設備投資 決定 (建設中のテネシー州新工場に対する追加投資、
およびオハイオ州における新工場設立)

2018年2月：第7次設備投資 決定 (アラバマ州 既存工場およびテネシー州 新工場、
オハイオ州 新工場に対する、さらなる追加設備投資)

受注拡大に向け、
計画進行中

北米地区では、自動車需要がさらに高まっている

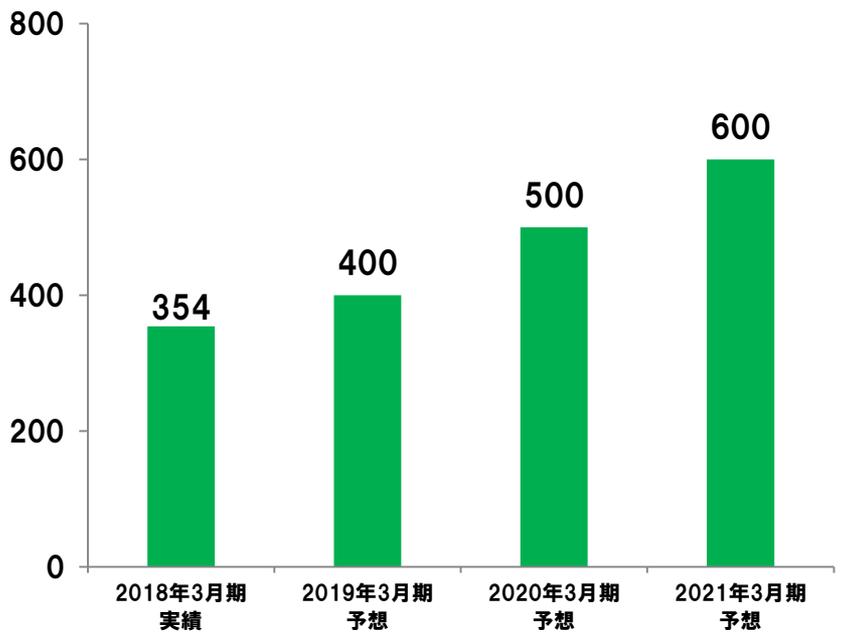


- ・既存プレス機をアルミ成形対応に改造
- ・ホットスタンプラインを導入 etc.



生産設備の増強が必要不可欠

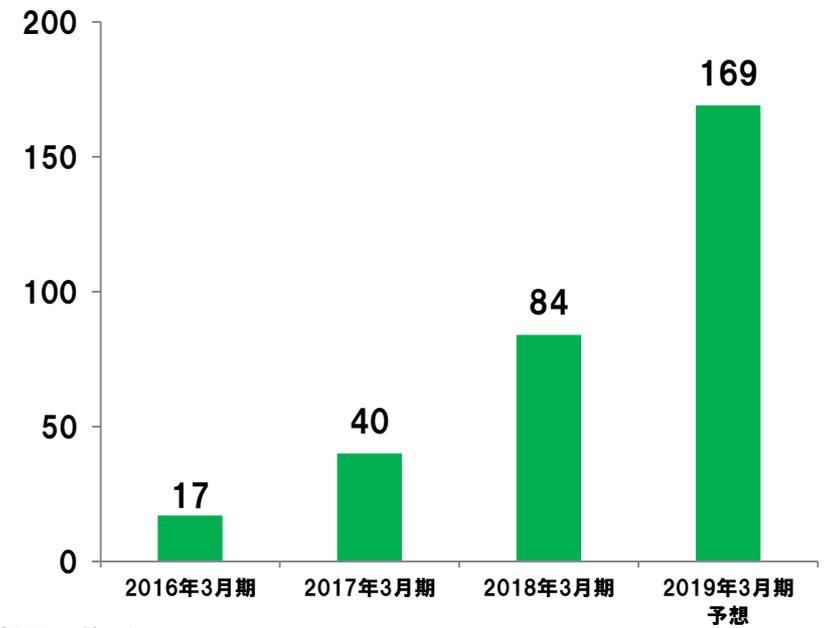
■ 売上予想



(単位：億円)

※単独売上
※予想は1ドル=108円で換算

■ 設備投資額の推移



(単位：億円)

2018年2月～ ホットスタンプ投資 進行中

メキシコでの自動車産業は当初の予想以上に拡大している
得意先の需要と期待に対応するため、工場建屋の拡張および生産設備を増強

【追加設備投資の流れ】

2012年3月：Topre Autoparts Mexico,
S.A.de C.V. 設立

2015年2月：追加設備投資 決定

2018年2月さらなる投資が決定



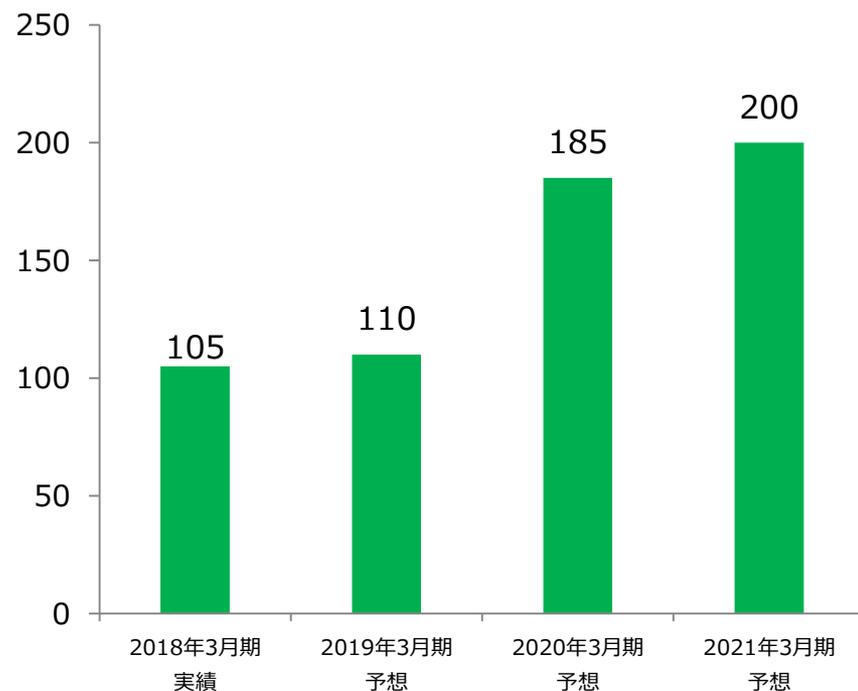
ホットスタンプライン導入

2020年2月より
生産開始予定

アメリカ、メキシコで
**合計約130億円の
追加設備投資**

■東プレメキシコ 売上予想

※単独売上
※予想は1ペソ=5.70円で換算



(単位：億円)

各拠点 稼働スケジュール

国内

国	地域		2018年	2019年	2020年
日本 	九州	東プレ九州 苅田地区 新工場	稼働準備	2019年1月～稼働開始	
	中部	東プレ東海 組立工場 拡張工事	稼働準備	2019年2月～稼働開始	

ホットスタンプ
導入

海外

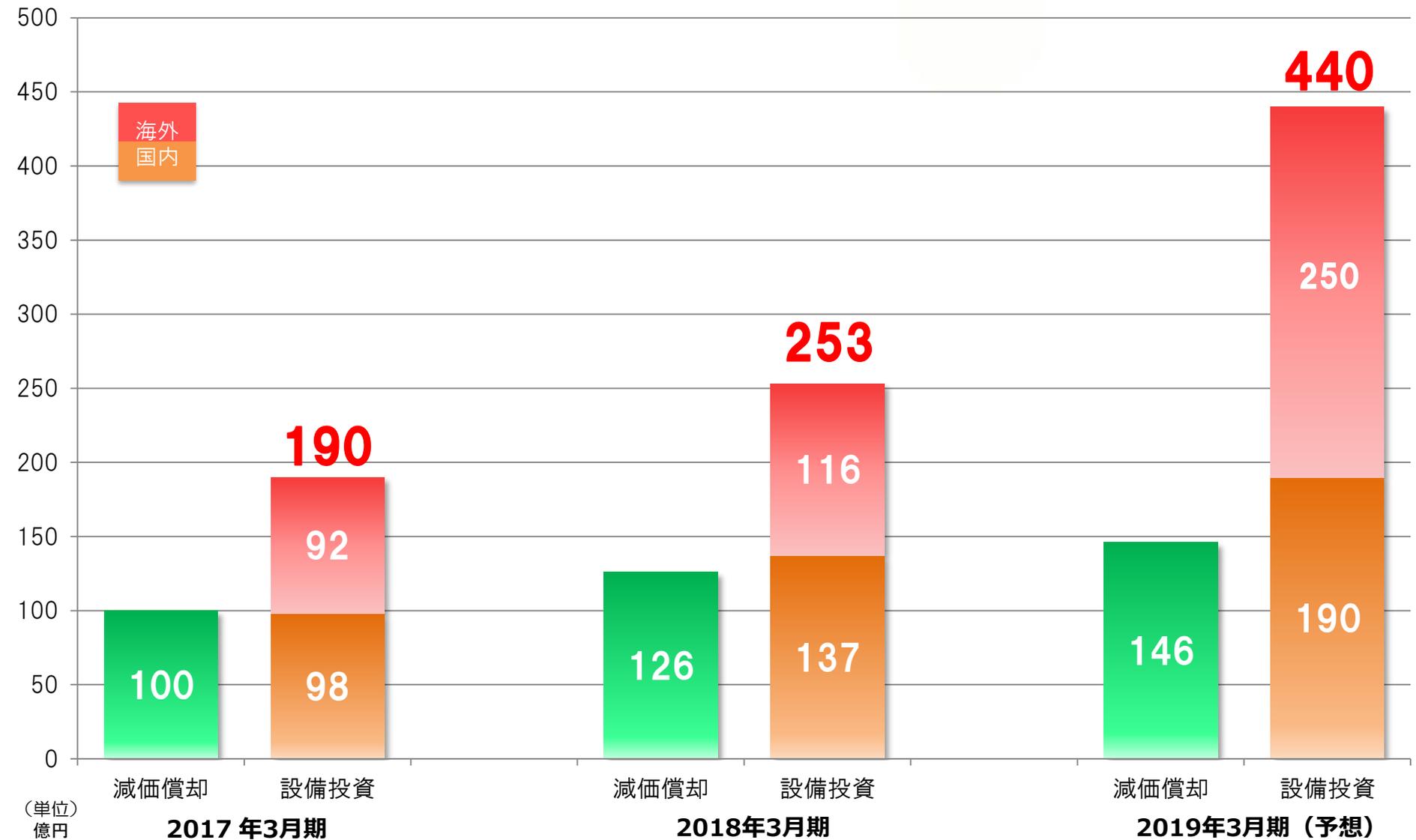
 (米)第6次 追加設備投資  (米)第7次 追加設備投資

国	地域		2018年	2019年	2020年	2021年
アメリカ 	アラバマ州	東プレアメリカ 第7次 追加投資	設備追加		2020年9月～稼働開始	
	テネシー州	東プレアメリカ 第6次 追加投資	稼働準備		2020年3月～稼働開始	
		東プレアメリカ 第7次 追加投資	2018年7月～大型プレス機等 設備追加		2020年7月～稼働開始	
	オハイオ州	東プレアメリカ 第6次 追加投資	プレス工場 準備	2018年11月～稼働開始		
組立工場			※組立工場：2017年 9月～稼働開始 プレス工場：2018年11月～稼働開始			
		東プレアメリカ 第7次 追加投資	2018年5月～大型プレス機等 設備追加		2020年2月～稼働開始	
メキシコ 	ケタラ州	東プレメキシコ ホットスタンプ投資	2018年4月～プレス機等 設備追加		2020年2月～稼働開始	
インド 	グジャラート州	東プレインド 新工場	建設準備 ～ 工場建屋建設		2020年3月～稼働開始	

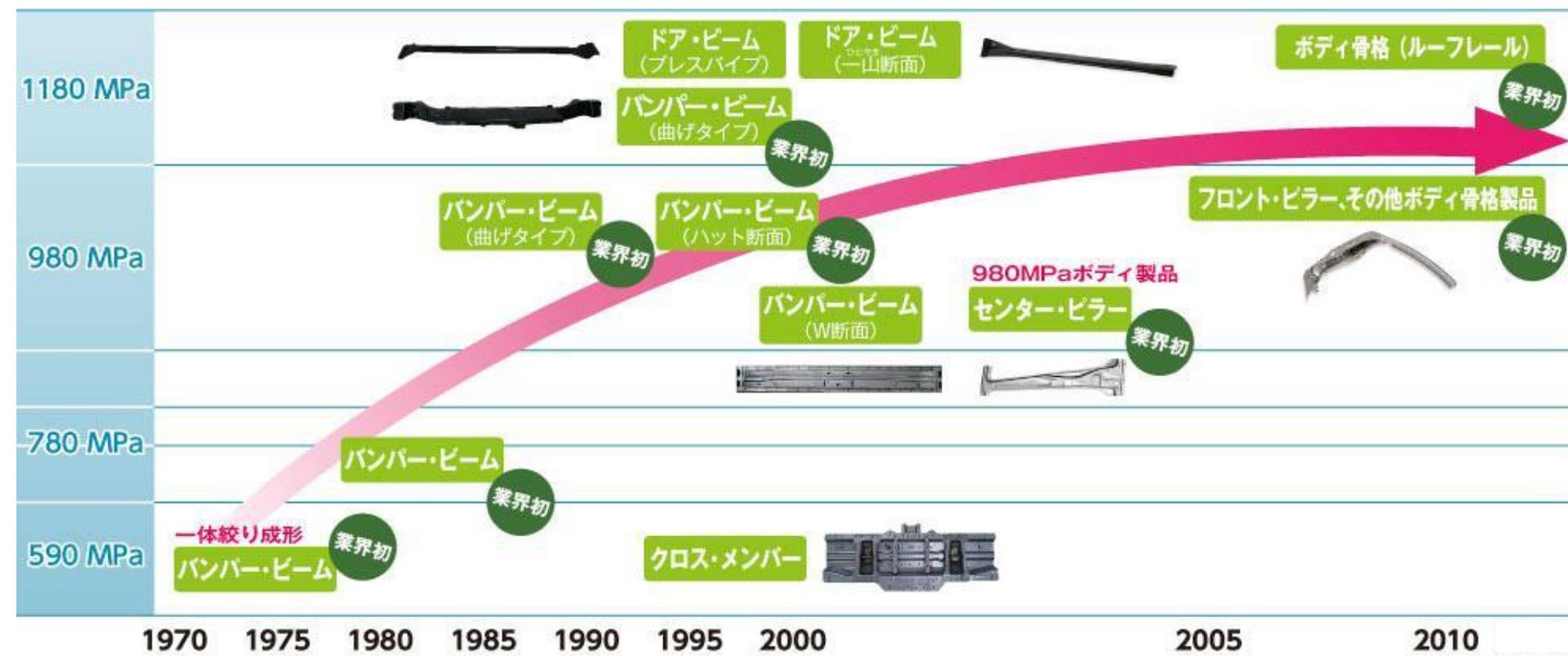
ホットスタンプ導入
1→2ラインへ

ホットスタンプ
導入

設備投資・減価償却推移



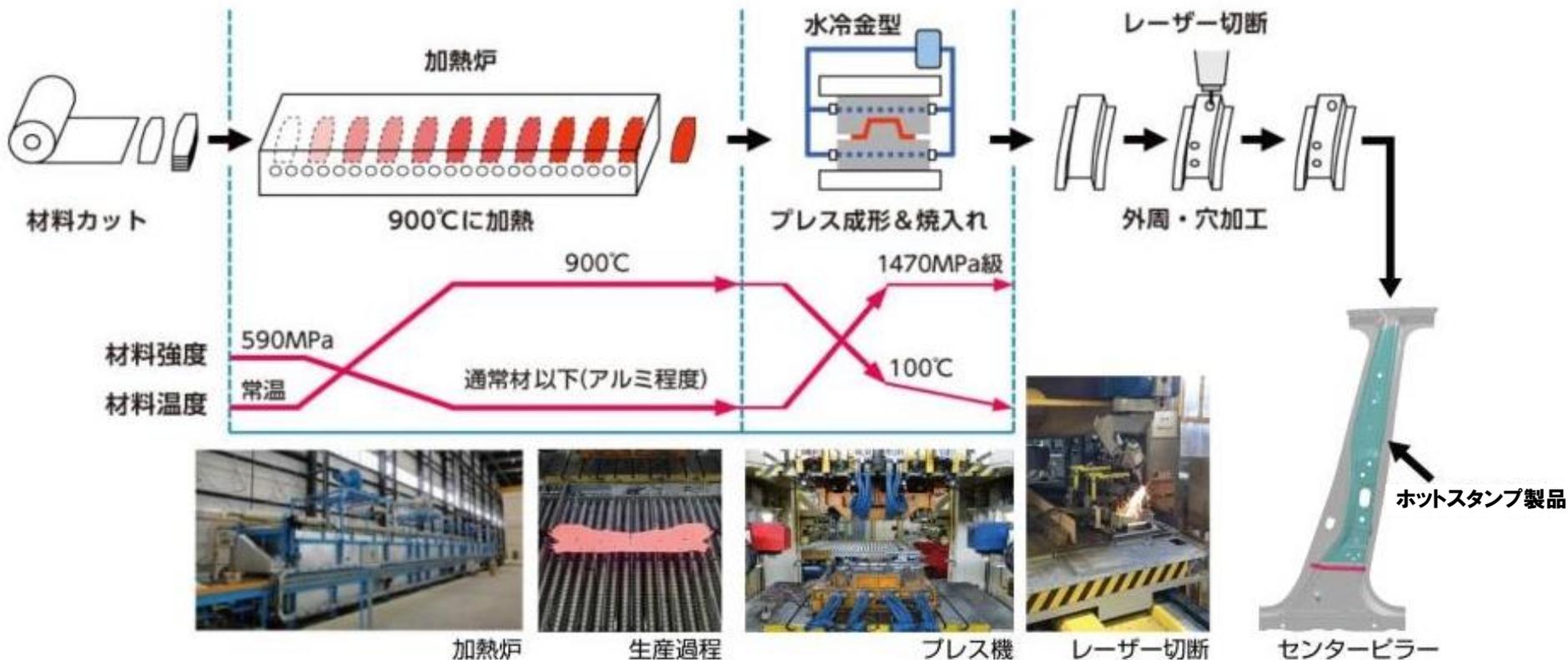
東プレの歴史はハイテン製品発展の歴史です



- 1970年代 590MPa材をバンパーに適用、以降ハイテン製品開発を推進
- 1980年代 980MPa材をバンパーに適用、以降様々なハイテン製品形状に応用してハイテンプレス技術を構築
- 2000年代 2002年に980MPa材を初めてボディ製品に採用
2013年に骨格部品としては業界初となる、1180MPa材の製品を量産化に成功
- 2018年 1470MPa材のボディ部品の製品化に成功

ホットスタンプ 1470MPa級ボディ製品

- ホットスタンプ成形技術(プレス成形と同時に金型内で焼入れ熱処理を行う**ハイブリッド工法**)を開発
- 自動車ボディ製品として**世界最高の1470MPa級強度の製品化に成功**



冷凍車・冷蔵車の取組み

コールドチェーンのトータルコーディネーター

～新たな取組み～

① 日本初「EV配送車」



東プレ製電気式冷蔵機を搭載



三位一体体制

- コンテナ～冷凍装置の一貫生産
- お客様の使用ニーズに合わせた独自の発想

② 新型航空保冷コンテナ

国土交通省からの委託を受け、東プレ、トプレック、ヤマト運輸の3社で研究開発中

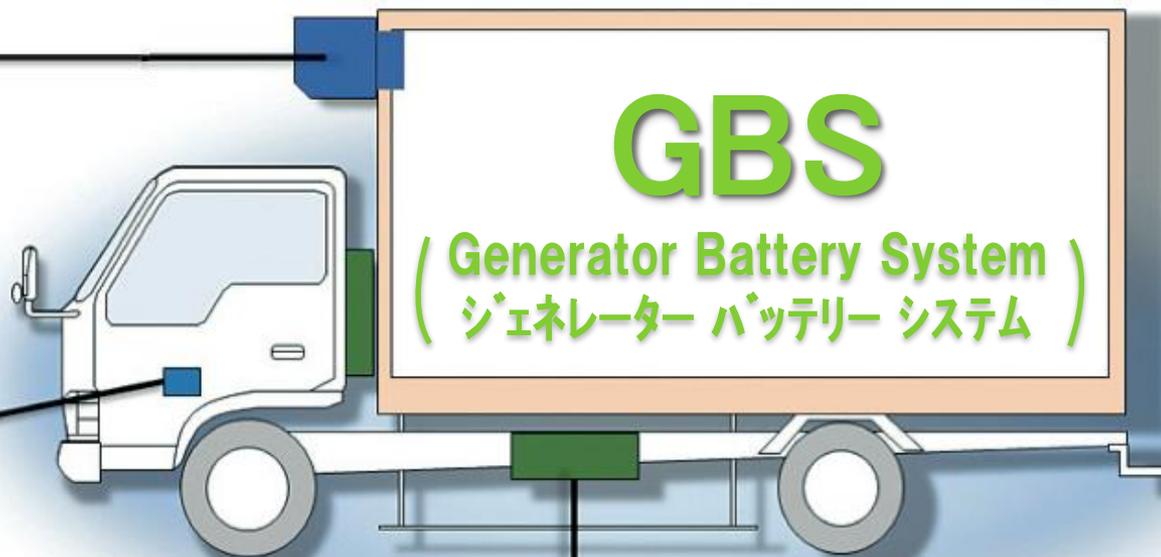
アイドリングストップ時も冷却可能なGBS



冷凍装置「GBS」



オリジナルPMGジェネレーター
※PMG: 永久磁石



- バッテリーを改良することで性能UP
- エンジン停止時に従来品よりも
2.5倍～3倍の時間、冷却が可能に
- 満タンまでの充電時間を1/8に短縮
- 耐久年数が従来品の3倍

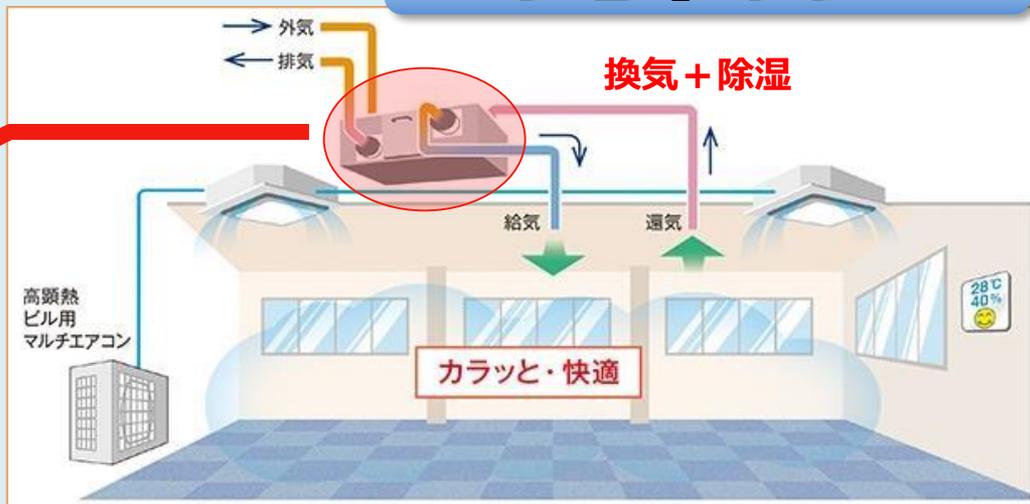
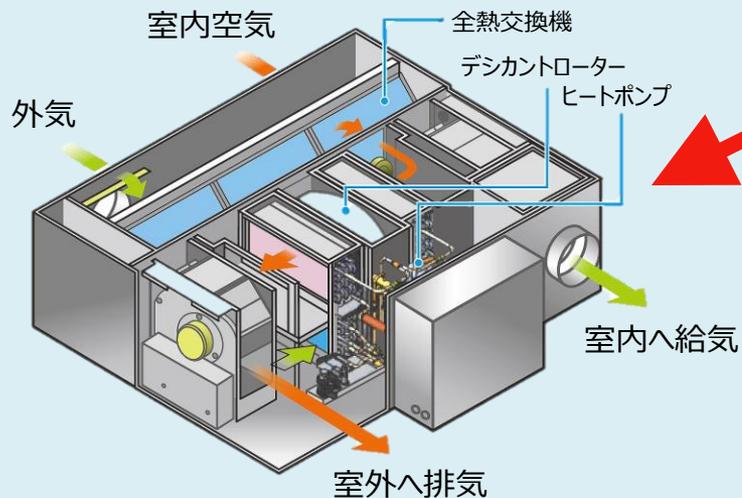


高性能バッテリー (ニッケル水素電池)

NEW!

東プレの新製品

デシトツプ



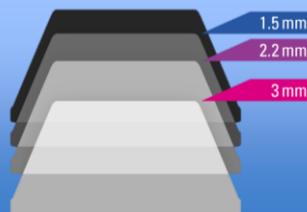
REALFORCE シリーズ



NEW

「REALFORCE RGB TKL」
2018年12月より発売開始

「REALFORCE RGB」の
テンキーレスモデルが新発売！
1680万色のRGBバックライト機能搭載！



スイッチの反応位置を
3段階に調節できる！

ポイント!!

1. 会社概要と製品紹介
2. 現状と将来への取組み
3. 第14次中期経営計画
4. 業績推移と予想
5. 株主還元

ビジョン

第14次中期経営計画

(2017年4月～2020年3月)

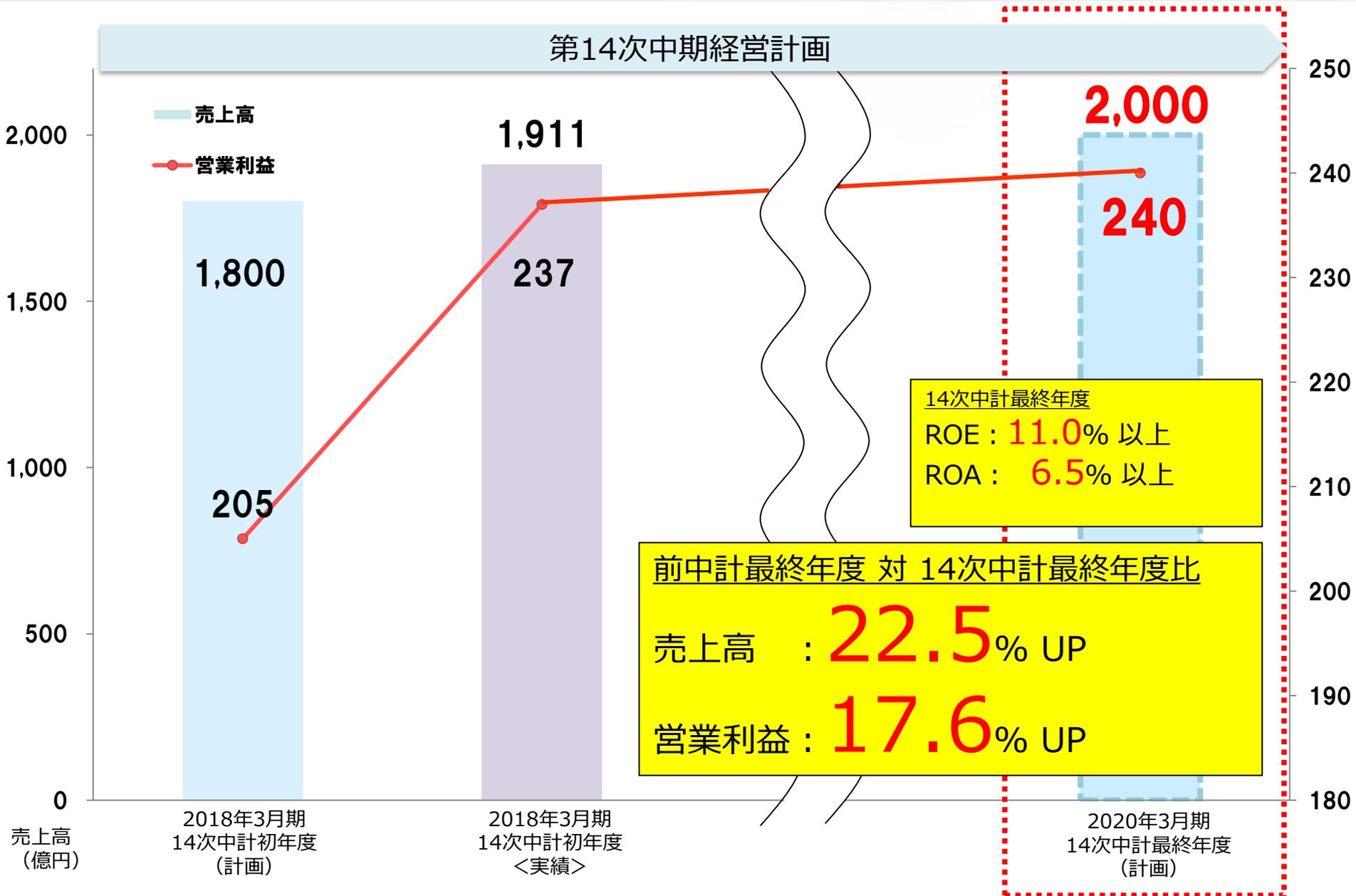
お客様に必要な提案を出し続け成長の基盤にしよう



<基本方針>

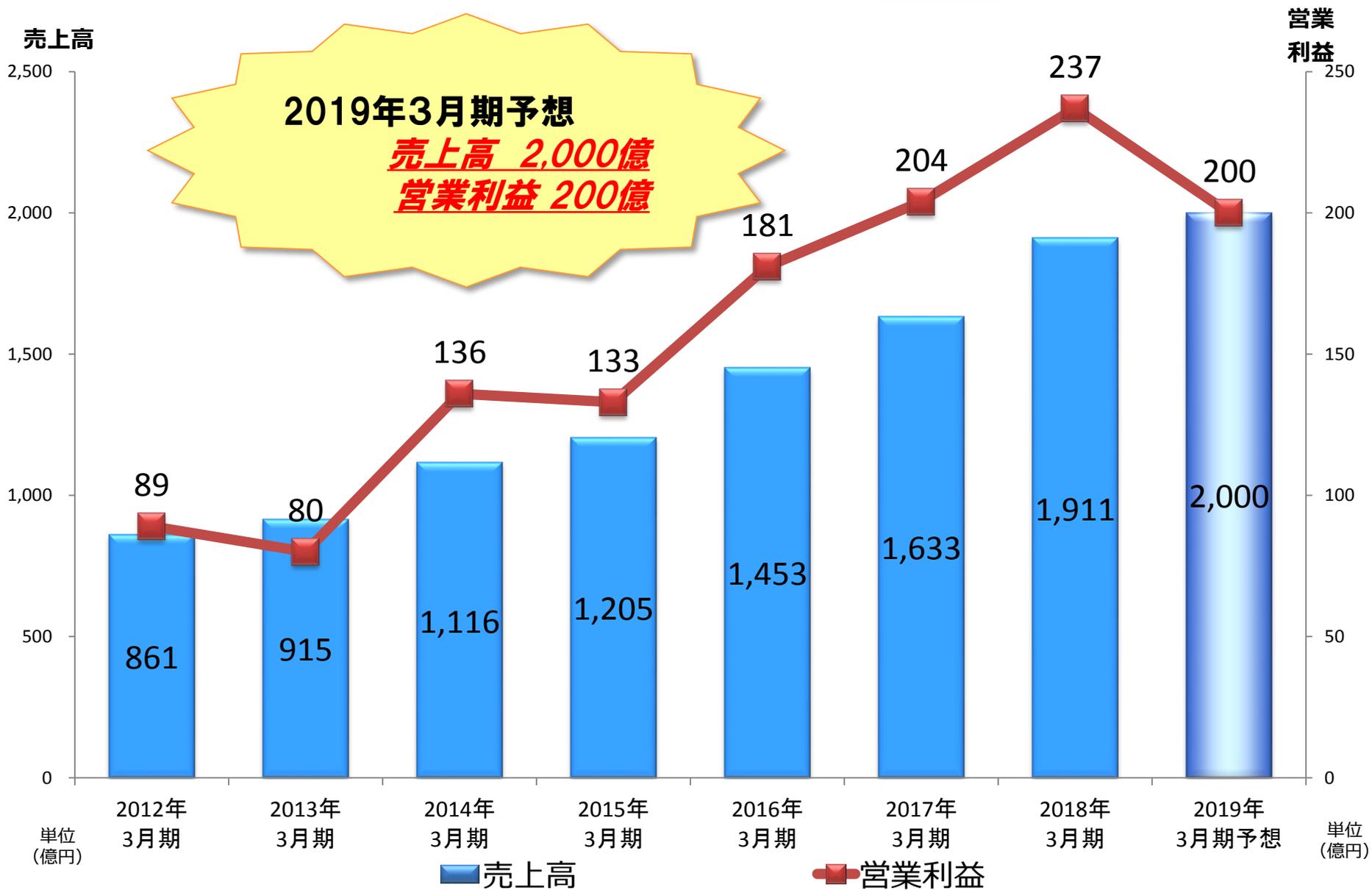
1. お客様目線を持ち、技術革新やお客様の求める競争力をつける提案を出し続ける
2. 新拠点進出に備え、工場運営の標準化を確立する(パッケージ化)
3. 社員の成長を促進し、経営幹部を見据えた人材育成をする
4. 業界NO. 1の品質を追求する

第14次中期経営計画(業績目標)



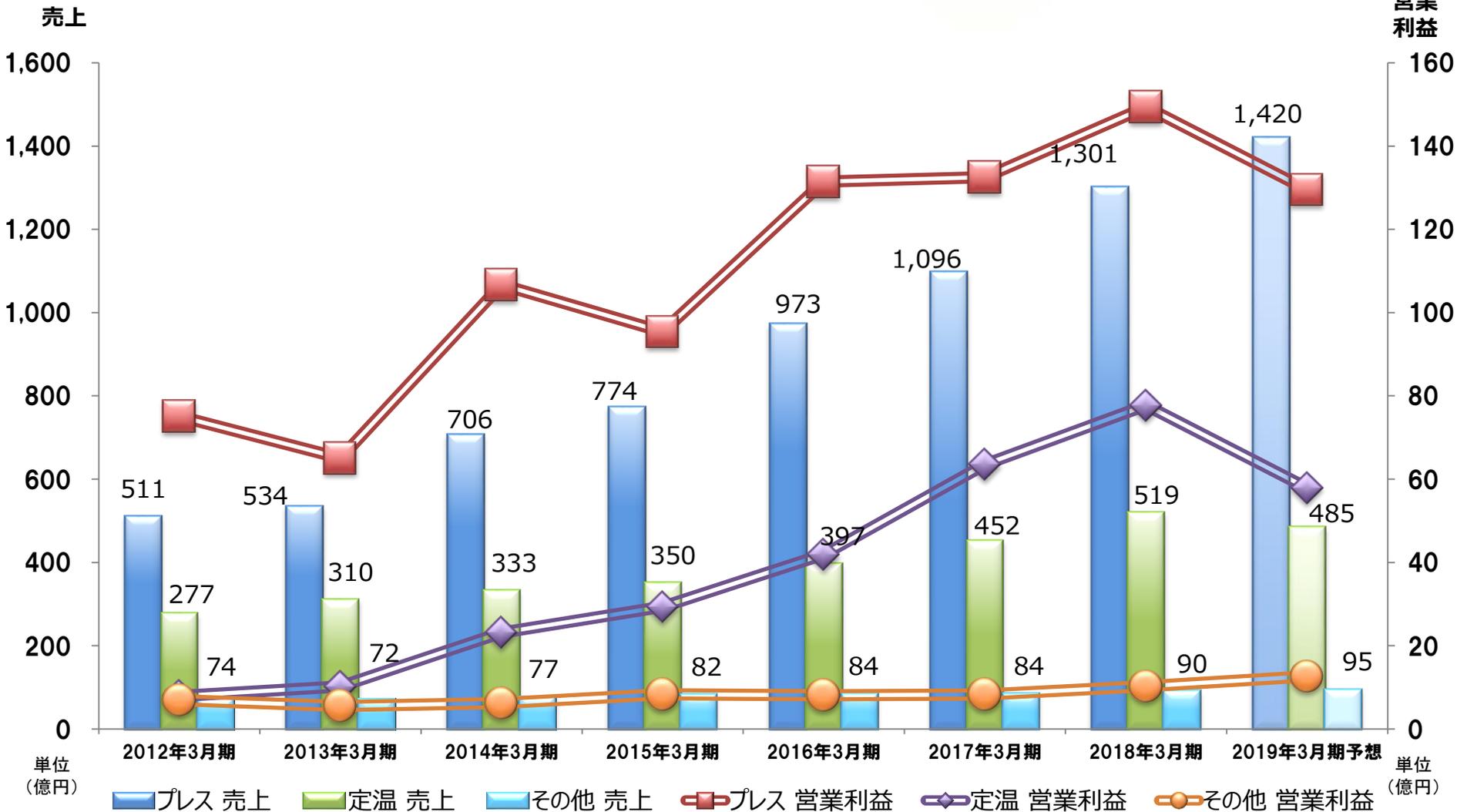
- 1. 会社概要と製品紹介**
- 2. 現状と将来への取組み**
- 3. 第14次中期経営計画**
- 4. 業績推移と予想**
- 5. 株主還元**

業績推移(売上・利益)



事業セグメント推移(売上・利益)

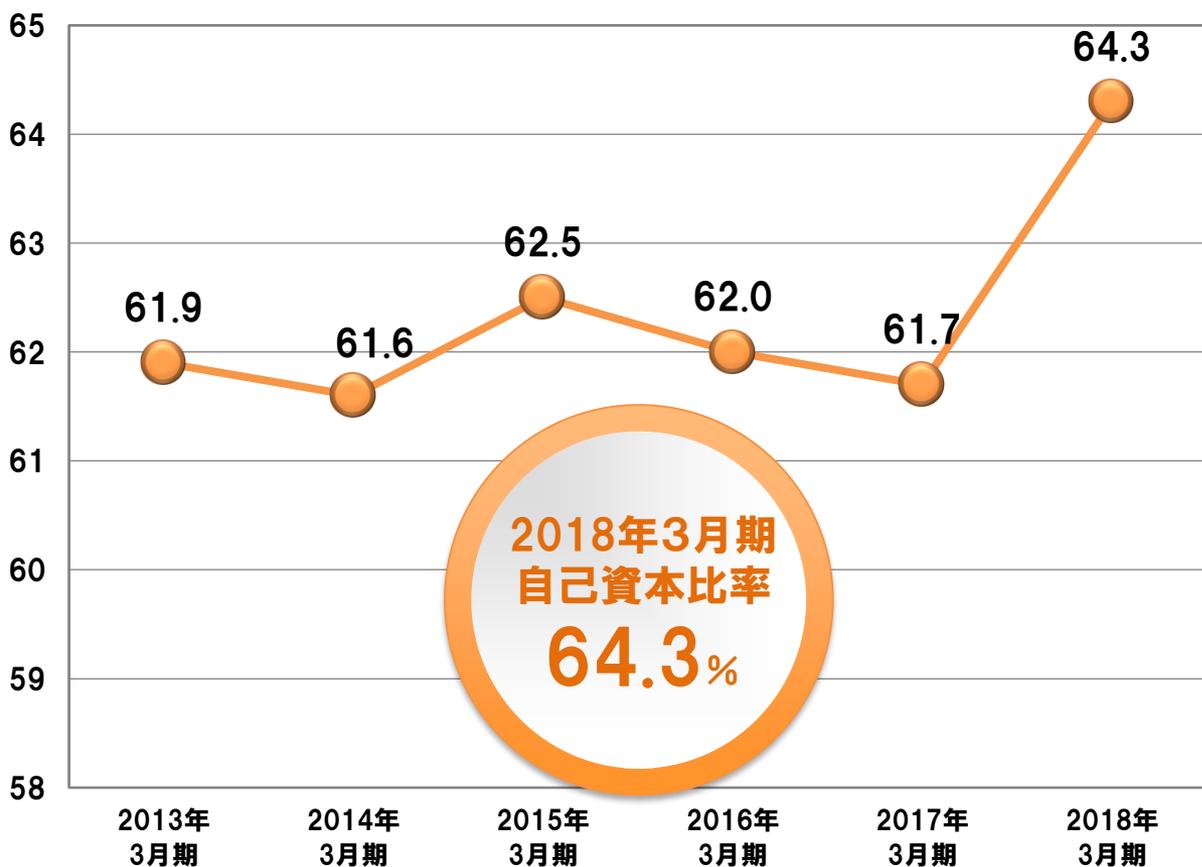
売上	861億円	915億円	1116億円	1,205億円	1,453億円	1,633億円	1,911億円	2,000億円
営業利益	89億円	80億円	136億円	133億円	181億円	204億円	237億円	200億円



1. **会社概要と製品紹介**
2. **現状と将来への取組み**
3. **第14次中期経営計画**
4. **業績推移と予想**
5. **株主還元**

財務状況の健全性を向上させることに努めております

(単位:%)



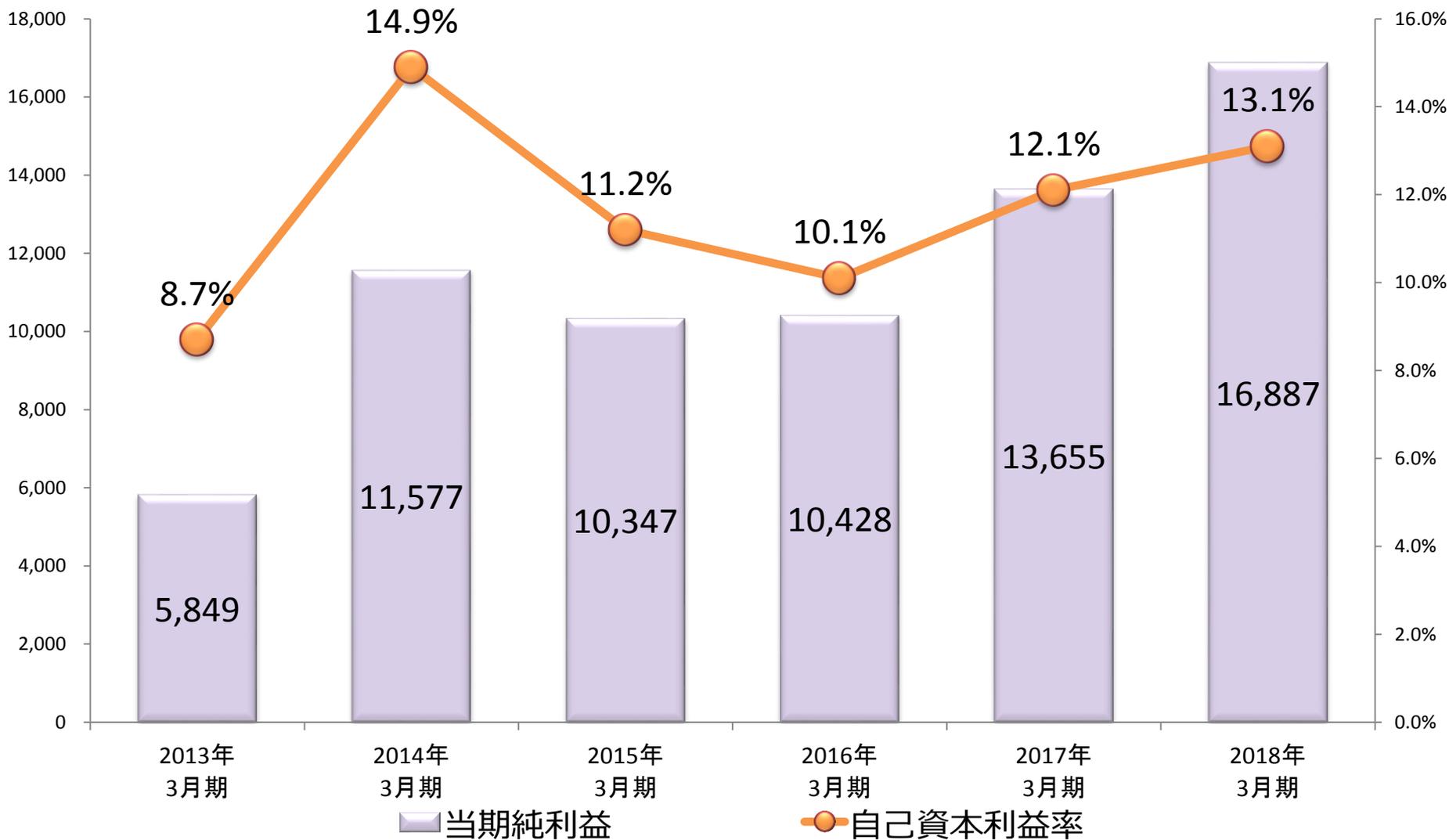
前期末(2018年3月期) 連結B/S

(単位:百万円)

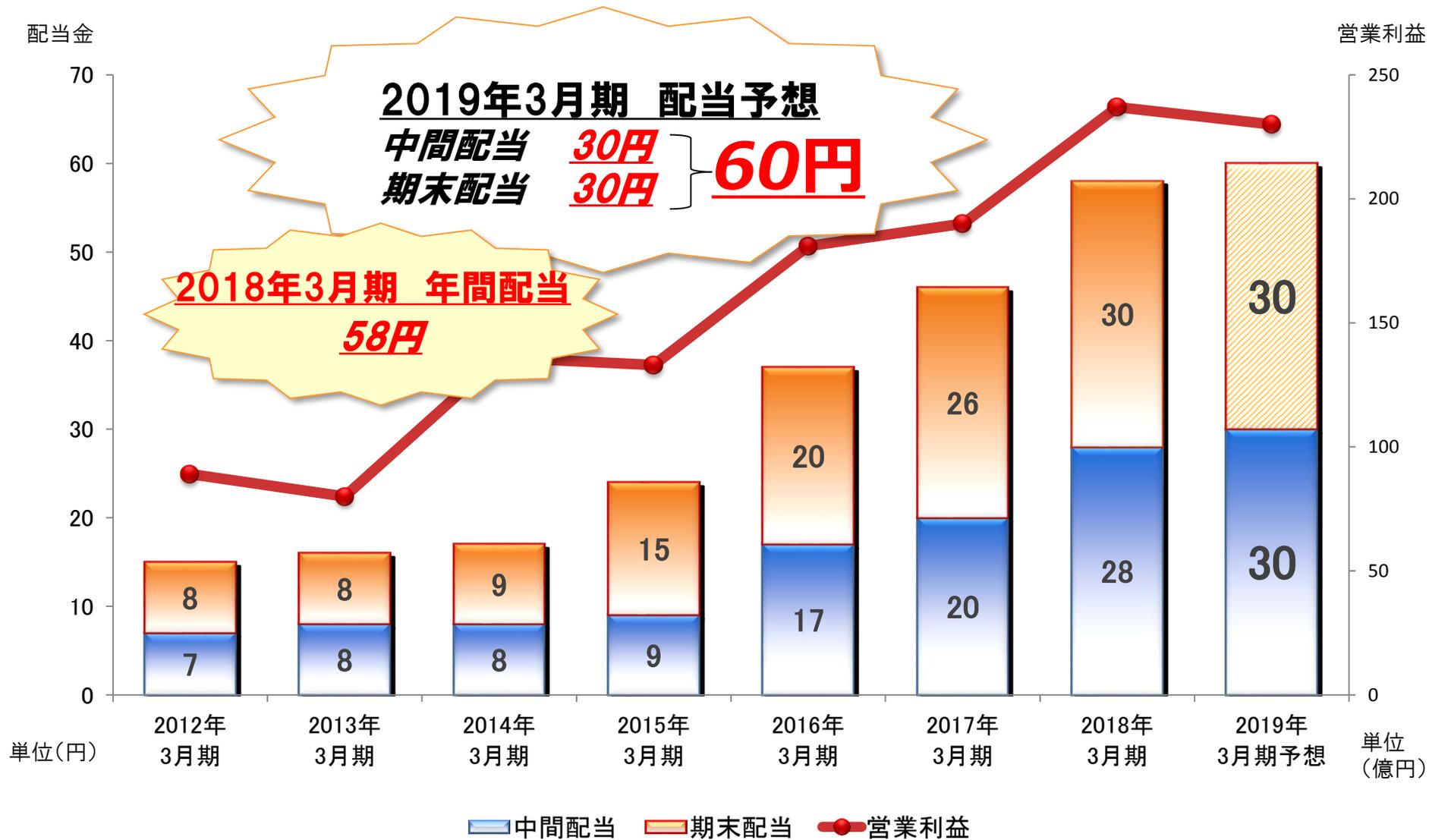
(資産の部)	
流動資産	98,249
固定資産	119,420
資産合計	217,669
(負債の部)	
流動負債	58,103
固定負債	10,870
負債合計	68,973
(純資産の部)	
株主資本	129,204
資本金	5,610
資本剰余金	8,251
利益剰余金	116,461
自己株式	△ 1,118
その他の包括利益累計額	10,652
非支配株主持分	8,839
純資産合計	148,695
負債純資産合計	217,669

株主資本の効率性向上に努めております

(単位:百万円)



配当基本方針：安定的かつ継続的な配当を実現すること



株主優待制度



株主優待制度について

当社では、株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、より多くの株主様に中長期的に保有していただくことを目的とし、下記の通り株主優待を実施しております。

対象株主様

毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された、当社株式100株(1単元)以上保有の株主様

贈呈時期

毎年1回、6月下旬(予定)

優待内容	当社オリジナル クオカード			
	1年未満		1年以上	
ご所有株式数に応じた 優待内容	100株以上 1,000株未満	1,000円分	100株以上 1,000株未満	2,000円分
	1,000株以上 10,000株未満	3,000円分	1,000株以上 10,000株未満	4,000円分
	10,000株以上	5,000円分	10,000株以上	6,000円分
基準日	毎年3月31日			

※保有株式数は、毎年3月31日時点の株主名簿に記載または記録された当社株式数により確定いたします。

※継続保有期間1年以上の株主様とは、毎年3月31日を基準として、当該基準日を含む直近1年間の株主名簿に同一の株主番号で継続して記載または記録されている株主様のことをいいます。



2018年度（2018年8月31日～2019年8月29日）の「JPX日経インデックス400」の構成銘柄に選定されました。

JPX日経インデックス400 JPX-NIKKEI 400

「JPX日経インデックス400」とは、資本の効率的活用や投資者を意識した経営観点など、グローバルな投資基準に求められる諸条件を満たした、「投資者にとって投資魅力の高い会社」で構成される株価指数です。東京証券取引所と日本経済新聞社が共同で算出を行っています。

東京証券取引所（第一部、第二部、マザーズ、JASDAQ）を主たる市場とする銘柄（普通株式を原則とする）から、400銘柄が選定されます。

銘柄選定方法

過去3年間の売買代金と毎年6月末の選定基準日の時価総額をもとに、市場流動性の高い1000銘柄を選んだ上で、3年平均ROE、3年累積営業利益、時価総額の3つの指標をそれぞれ40%、40%、20%の割合で点数化したものに、ガバナンスやディスクロージャーの観点から定性的な評価を加えた最終的なランキングで400銘柄を選定します。また、指標性を維持するために毎年1回、「定期見直し」で8月末に構成銘柄を入れ替えます。

ご清聴ありがとうございました

技術と発想で「未来」を創る

Topre

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、今後の様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

【お問い合わせ先】東プレ株式会社 総務部IR室

電話 03-3271-0711

<http://www.topre.co.jp>

ホームページ
QRコード

